

GALAXY SADO ART 2026

テーマ「過去と未来の帰港地」

会期：2026 年 9 月 12 日（土）～11 月 15 日（日）（65 日間）



一般社団法人佐渡国際芸術推進機構（新潟県佐渡市）は、2026 年 9 月 12 日（土）から 11 月 15 日（日）まで、佐渡島を巡るアートプロジェクト「GALAXY SADO ART 2026」を開催します。本事業は文化庁「日本博」令和 8 年度委託事業として、世界遺産の地でもある佐渡島の歴史・精神文化・自然と最先端の現代アートを融合させ、グローバルな訪日客へ向けた新しい文化観光体験を創出します。あわせて、日本海側・新潟県内で初めてとなる多言語デジタルガイド「Bloomberg Connects」を導入し、インバウンド・グローバル発信を強化します。

■ 開催にあたって

「GALAXY SADO ART」は、トリエンナーレ形式として 3 年に一度開催する「さどの島銀河芸術祭」へとつながる継続型のアートプロジェクトです。2026 年は、2027 年に開催する第 3 回本祭を見据え、国内外のアーティストによる作品展示をはじめ、アーティスト・イン・レジデンス、国際シンポジウム、伝統文化や地域産業と連携したプログラムなどを展開します。

かつて流刑地であり、北前船の寄港地として多様な文化と人々が交差し、金を抽出してきた金銀山とトキの生態系が共存する佐渡島。本プロジェクトでは、この島を単なる観光地ではなく、地球規模の環境変化や人間活動の歴史を捉え直す「地質学的未来（ジオ・フューチャリズム）」の実験地、そして新たな文化が生まれる「帰港地」として再定義します。港町の商店街、廃校を再生した酒蔵、日本海を望む海辺、山あいの棚田——佐渡の風景や伝統建築そのものが、現代アートとなります。

■ 開催概要

名称	GALAXY SADO ART 2026
テーマ	過去と未来の帰港地
会期	2026 年 9 月 12 日（土）～11 月 15 日（日）
会場	佐渡島内各所

定休日	火・水曜日（祝日を除く） ※学校蔵は月・火・水・木曜日（祝日を除く） ※その他の会場は公式サイトを確認
主催	一般社団法人佐渡国際芸術推進機構／独立行政法人日本芸術文化振興会／文化庁
参加料	パスポートチケット 一般 2,500 円／学生 1,000 円（新潟県民割あり、個別鑑賞券あり）
チケット購入	[オンライン] ArtSticker、アソビュー！ ／ [実券] GALAXY SADO ART 2026 総合案内所 TAACHI、佐渡観光情報案内所 ほか
公式サイト	https://sado-art.com/

■ 見どころ

参加アーティスト（一部）：卯城竜太／加藤翼／渡辺志桜里／池田佳穂／三宅感／マドハット・カケイ／ラ
ンディ・レナーテ／Chim ↑ Pom from Smappa!Group／宇川直宏／富田勲×DOMMUNE ほか

① 両津・夷本町商店街「Five Owners（仮）」—— 港町の空き家から始まる、空間と関与の再定義

卯城竜太（アーティスティック・ディレクター）／加藤翼／渡辺志桜里／池田佳穂／Experimental rooms／まめやハロン
ほか

両津商店街の空き物件を舞台に展開するプロジェクト。アーティスト自らが建築や都市の継続性に対する批評的ア
プローチを行い、アートによる一時的な占有から「持続可能な関与と運営の再定義」へと踏み込む、オルタナティブ・
スペースの試み。



Five Owners（仮）：加藤翼／廃屋グループ合同会社／カルロス（存在飯店）／渡辺志桜里／Experimental rooms／まめやハロン／池田佳穂



両津商店街の空き店舗をギャラリーに改装したTAACHI. GALAXY SADO ARTやAIRの拠点にもなっている。

② 真野・学校蔵（尾畑酒造）—— 廃校の酒蔵で出会う、現代アート

Chim ↑ Pom from Smappa!Group／三宅感／マドハット・カケイ／富田勲×DOMMUNE

尾畑酒造が廃校を酒蔵として再生した「学校蔵」が展示会場に。介護の現場で働きながら他者との関係を作品にする
三宅感、イラク・キルクーク出身の画家マドハット・カケイらが参加。富田勲没後 10 年を記念し、DOMMUNE と
の企画「惑星酒／PLANETARY SAKE」も同時開催、佐渡の酒文化と電子音楽が交差する体験を生み出す。



尾畑酒造の「学校蔵」外観（尾畑酒造（株）提供）



DOMMUNE Presents「LANDSCAPE MUZAK」#4 Isao Tomita 10th Anniversary Tribute Project 富田勲 × DOMMUNE「惑星酒／PLANETARY SAKE」富田勲（日本）× DOMMUNE（日本）



Chim ↑ Pom from Smappa!Group



三宅感



マドハット・カケイ

③ 佐和田海岸・岩首昇竜棚田 —— 美術館を飛び出して、島の風景へ

ランディ・レナーテ ほか

佐和田海水浴場では、ニューヨークを拠点とするランディ・レナーテが佐渡周辺の海洋生物や地域の人々とのリサーチをもとにした作品を発表。急斜面に棚田が連なる岩首昇竜棚田では、佐渡に流された世阿弥や、島に根づく能文化、米づくりの風景など、積み重なってきた時間と現代アートが交差する。



世阿弥の彼岸ポート ゴールデンクルージング／寺田佳央 @岩首昇竜棚田



会遇／庭連 @岩首昇竜棚田



海への願い／ランディ・レナーテ @佐和田海岸

④ 多言語デジタルガイド「Bloomberg Connects」導入（10月上旬公開）

日本海側・新潟県内初導入

世界 1,600 以上の美術館・文化施設を紹介する無料デジタルガイドアプリに「GALAXY SADO ART 2026」が登場。多言語対応により、海外からの来訪者へも作品の背景にある佐渡の歴史、能舞台、アニミズム文化の物語を発信。作品情報や解説、映像、展覧会マップなどをスマートフォンで楽しめる。



■ 国際シンポジウム

日時	2026 年 10 月 4 日（日） 10:00～17:30
会場	あいぽーと佐渡（佐渡市両津夷 384-11）
テーマ	「惑星の孤島、佐渡 アートの航路 — アジアの実践者と考える、自然・地域・文化をつなぐ未来 —」

シンガポール、台湾、瀬戸内、新潟・佐渡などから研究者、文化プロデューサー、アーティストを招聘。金銀山開発によって自然を大きく変えてきた歴史と、トキの野生復帰を実現してきた歴史。その双方を持つ佐渡を「小さな地球」として捉え、自然、文化、地域、観光、AIR、持続可能な芸術祭のあり方を考える。

登壇者

- ・呉漢中（Han-Chung Wu）—— 都市計画家／キュレーター（馬祖ビエンナーレ チーフキュレーター）
- ・Dr. Cissie Fu —— 政治理論家／シンガポール芸術大学准教授（LASALLE マクナリー・スクール・オブ・ファイナンス・アーツ 学長）
- ・内田真一 —— 公益財団法人福武財団 助成セクションマネージャー（ベネッセアートサイト直島）
- ・小川弘幸 —— 新潟市芸術創造村・国際青少年センター（ゆいぽーと）統括ディレクター／さどの島銀河芸術祭アドバイザー
- ・吉田盛之 —— （一社）佐渡国際芸術推進機構代表理事／さどの島銀河芸術祭ファウンダー・プロデューサー（本シンポジウム企画・総合ファシリテーター） ほか

■ FRACTAL CAMP 2026（フィナーレ）

日時	2026 年 11 月 14 日（土）夕方～夜／15 日（日）早朝
会場	野生の朱鷺が棲む神社・棚田一帯
出演	鼓童／DOMMUNE×富田勲／鷺流狂言／樂謡游舞の会（能）／宇川直宏 ほか

「GALAXY SADO ART 2026」のフィナーレを飾るプログラム。夕闇が深まる境内と伝統建築の中で、DOMMUNE が可視化する身体知とアートが響き合い、神社から夜明けの棚田へと時間と場所をつなぎながら、佐渡の自然・信仰・伝統芸能・現代アートを全身で体感する、佐渡でしか成立し得ない没入型（イマーシブ）体験。



FRACTAL CAMP 2026 イメージ画像

■ 今後の展望 —— 2027 年 第 3 回本祭へ

「GALAXY SADO ART 2026」は、一過性の展覧会ではありません。2027 年に開催する第 3 回本祭「さどの島銀河芸術祭 2027」へ向け、アーティストの滞在、地域文化との協働、海外とのネットワークづくりを一年を通して積み重ねていきます。かつて金銀山や北前船などを通じて多様な人・文化・技術が行き交った佐渡島に、もう一度世界から人が訪れ、島の文化と出会い、新しいものが生まれていく場所へ。テーマ「過去と未来の帰港地」には、そうした思いが込められています。

【本件に関するお問い合わせ】

GALAXY SADO ART 2026 事務局 一般社団法人佐渡国際芸術推進機構

TEL：0259-36-0003 E-mail：info@sado-art.com

発行元／後援 公益社団法人新潟県観光協会